

The 14th TRIZ Symposium in Japan

第14回日本TRIZシンポジウム2018 閉会にあたって

「TRIZで夢を実現しよう！」

2018年9月13日（木）～14日（金）

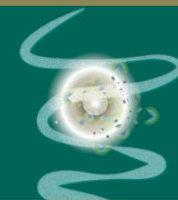
場所：中野サンプラザ

NPO法人日本TRIZ協会
副理事長 前古 護

YUMEJITSU
夢実

Realize your Dream
with TRIZ!



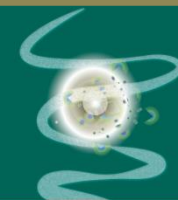


第14回日本TRIZシンポジウム2018を振り返って

今年度も2日間のシンポジウム(木・金曜日)として実施致しました。
本年は企業の発表者のほか、大学・高専の方々の発表も多数あり
バリエーションに富んだ内容だったかと思えます。
企業発表でいうと事業規模および業種の拡がりを感じさせ、
今後の益々の発展に期待したいところです。

・ チュートリアル

今年も、例年通り第1日目の午前中にチュートリアルを実施しました。
「イノベーション技法TRIZ」というテーマで、日本TRIZ協会理事である
小西慶久氏により、TRIZの基本的な考え方や代表的なツールを紹介
いたしました。

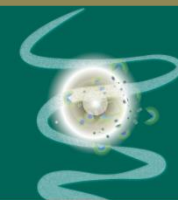


• 特別講演

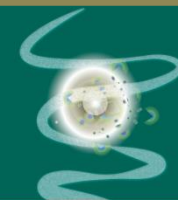
1日目午後は、伸和コントロールズ株式会社の楠本達司氏をお招きし、「体系的手法の活用と技術革新に向けて！」～中小企業の製品開発への挑戦から～」をテーマにお話を頂きました。中小企業の限られたリソースをいかに効率的に活用し、市場に受け入れられる製品を投入して来られたのか。体系的手法の活用の観点から報告頂き大変有意義な講演であったと思います。

• 基調講演

2日目午前には、サムスン電子のMi Jeong Song（ミジョン・ソン）をお招きし、特許分析と戦略的発明のための技術進化の機会マイニング（TEOM）をテーマにお話をいただきました。イノベーションの優先順位を予測し、最も有望で具体的なアーキタイプの作成のために、TEOMと呼ばれる新しいアプローチを提案頂きました。大変興味深い講演をして頂けたと思います。



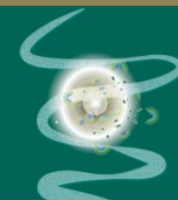
- 一般発表は、オーラル発表が1日目8件＋2日目10件、ポスター発表は2件の実績でした。来年も今年以上の発表者を期待したいと思います。
一般発表の中では、TRIZの関連技法としてQFD・TOCをはじめとした連携やイノベーション活動とTRIZとの関わりなどの事例など、TRIZ活用の多様な展開を感じることができた2日間だったと思います。
- 参加者については、昨年度と比べ残念ですが減少してしまいました。
次回以降、多くの方に参加いただけるように、シンポジウムの内容を一層魅力的にすることおよび各団体との連携または広報活動を、さらに強化していきたいと思います。
- **参加者数（国内・海外） 昨年：121名 → 今回：101名**
来年の第15回大会も、より多くの参加者を集められるよう魅力的なシンポジウムを企画していきたいと思っております。
今後も皆様方のご協力を是非ともお願いいたします。



第14回日本TRIZシンポジウム2018での協力団体

- 後援：日本知財学会、品質工学会
 - 協賛：応用統計学会、統計数理研究所リスク解析戦略研究センター、統計センター（総務省）、日刊工業新聞社、日本科学技術連盟、日本機械学会、日本設計工学会、日本創造学会、日本バリュー・エンジニアリング協会
- 敬省略

- 昨年同様、今年(2018年)は、後援2団体・協賛9団体となり、支援団体の方々に感謝申し上げます。
これもひとえに関係者の皆様のご理解と努力のたまものと考えます。
- 来年度の第15回大会でも、TRIZの認知度Upおよび参加者の増加を図るべく新たなイベント等の企画も、引き続いて検討したいと思いを。



■ シンポジウム実行委員会

実行委員長：三原 祐治

実行副委員長（兼会計担当）：津波古 和司

実行委員（事務局）：池田 理、福嶋 洋次郎

実行委員（スライド翻訳）：津波古 和司、小西 慶久

実行委員（広報担当）：前古 護、広報委員会

プログラム委員長：小西 慶久

■ 開催準備協力

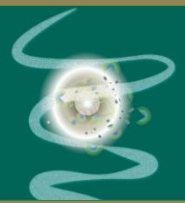
ポスター&パンフレットデザイン：志方 敬、志方 淳子

開催準備：伊沢 久隆、古謝 秀明、緒方 隆司

■ 会場設営&シンポジウム運営

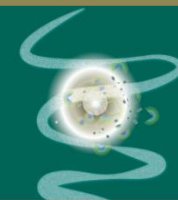
TRIZ協会運営委員

（敬称略）



会場関係

今回のシンポジウム開催に当たり、会場の使用を
快諾戴き、また種々の便宜を図って戴きました
中野サンプラザ様の関係者各位に厚く御礼申し上げます。



第14回日本TRIZシンポジウム2018 閉会にあたって

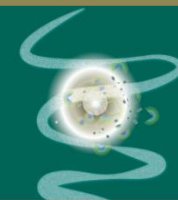
シンポジウムも予定された日程を終えました。

新製品開発への適応/技術問題解決/知的財産創出/大学の研究/
社内活動報告などに対するTRIZ推進状況（各手法等との組合せも含む）
のさまざまな発表が行われました。

これも皆様のご協力があったのものであります。厚くお礼を申し上げます。

これらの知見を皆さんの所属機関に持ち帰って、TRIZの研究/利用/応用に
役立てていただけるものと期待致します。

*運営面では、A会場とB会場が隣接しているため、移動等の無駄もなく、
スムーズな案内ができたのではないかと思います。交流会は、
開催会場外での開催でしたがとても活発な交流会になりました。

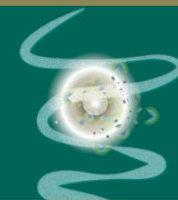


日本TRIZ協会からのお願いとお誘い

- TRIZシンポジウムでの活動はもとより、日本TRIZ協会の活動は会員ベースの公共的なボランティアベースの非営利法人活動で行われています。
- TRIZを、広く日本に普及し、それによる産業の発展をめざして、研究会活動の参加をはじめとして、TRIZ協会の活動に皆さんの積極的なご参加をお願いします。

<研究会活動>

- 1) 知財創造研究分科会（主査：長谷川公彦氏）
- 2) ビジネス・経営TRIZ研究分科会（主査：吉澤郁雄氏）
- 3) 新しい時代のTRIZ教育分科会（主査：黒澤槇輔氏）
- 4) 既発表情報活用研究分科会（主査：永瀬徳美氏）



2019年第15回大会に向けて

■ 来年度は、第15回大会です。

• 日程：2019年9月第二週の5日(木) & 6日(金)

• 場所：「全水道会館」で開催予定

(東京都文京区本郷 最寄駅：JR&都営三田線 水道橋駅)

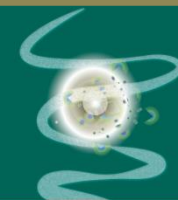
■ 来年度も可能な限り特別企画等も継続して実施していく所存です。

今から、日程の確保をお考えください。

次回のシンポジウムには是非発表をお願いします。

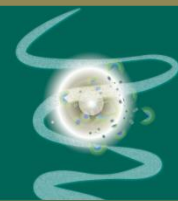
→ 今から発表に向けて準備をお願いします。

と同時に、今年同様活発な意見交換をお願いします。



- ◆ 来年のシンポジウムのためにも、「アンケートの記入」にご協力をお願いします。
- ◆ 「あなたにとって良かった発表」の投票をお願いします。
- ◆ また「名札の回収」にご協力ください。

第14回日本TRIZシンポジウム2018へのご参加を頂き誠にありがとうございました。
あらためてお礼申し上げます。



気をつけてお帰りください

来年また



お会いしましょう♪